

手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、間伐を行った事例

事業名 環境貢献林整備事業

市町名 広島市

取組のきっかけ・経緯

・手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、間伐、被害木の伐倒整理等を行った。

今後の展開

・間伐後の人工林に対して、継続的に適切な管理を行う必要がある。

取組の内容

- ・事業主体：林業事業体3団体
- ・実施場所：広島市内一円
- ・実施量：124.36ha
- ・事業費総額：51,799,130円
- ・実施期間：令和5年9月1日
～令和6年3月27日

【施業前】



取組後の感想

・手入れがなされず放置された人工林の間伐を行うことができた。

【施業後】



町内会等が里山林の整備を行った事例

事業名 里山林整備事業

市町名 広島市

取組のきっかけ・経緯

・手入れ不十分な農山村地域や都市近郊の里山林等について、生活環境及び自然景観の保全を図るため、土砂災害防止及び生物多様性の保全、鳥獣被害防止、自然とのふれあい等を目的とした森林整備を町内会等が主体となって行った。

今後の展開

・普及啓発を行い事業実施個所を増やすことで、地域住民の森林への関心を深める。
・里山林の整備を行ったことで、町内会等による森林の管理を行うことが出来るようになる。

取組の内容

- ・事業主体: 町内会等15団体
- ・実施場所: 広島市内一円
- ・業務委託先: 林業事業体
- ・実施量: 7.90ha
- ・事業費総額: 11,513,660円
- ・実施期間: 令和5年9月11日
～令和6年3月22日

取組後の感想

・里山林整備を行うことで全体に明るくなり、これまでの圧迫感が少なくなった、イノシシやサルなどの隠れる場所が減ったために、出没が減少したなどの住民からの感想があった。
・事業に取り組んでいない町内会等から近くの里山林整備の状況を見てこれから取り組みたいなどの相談がある。

【整備前】



【整備後】



森林に関する知識や林業技術を習得し、市民団体を牽引する役割を果たす人材を育成する事例

事業名 特認事業(森林・林業体験活動支援事業)

市町名 広島市

取組のきっかけ・経緯

・森林の持つ多様な機能に対する市民の関心が高まっていることから、森林づくりの活動へ都市部の住民が自発的に参加する動機付けと、それぞれの立場で参加できる機会を提供し、森林・林業に関する認識を深める。

今後の展開

・本事業の実施により、市民が森林整備に関する知識・技術を習得することで、森林整備が進むだけでなく、森林・林業に対する意識の改革が期待できる。

取組の内容

- ・事業主体：市民参加の森林づくり実行委員会
- ・対象者：広島広域都市圏在住の住民
- ・受講者数：30人
- ・事業費総額：1,069,900円
- ・実施期間：令和5年4月1日
～令和6年3月31日

取組後の感想

- ・下刈、間伐等の実技について初めて行い、目的・方法等を丁寧に教えてもらえてよかったなどの感想があった。
- ・森林整備の知識と技術に触れるだけでなく、これから森林ボランティアとしての活躍が期待される。

【竹林整備の様子】



【植林の様子】



森林所有者や地域住民が行う、自ら行う「自伐林業」のための講習会を行った事例

事業名 特認事業（森林・林業体験活動支援事業）

市町名 広島市

取組のきっかけ・経緯

・森林所有者や地域住民が行う、森林内に放置された未利用材の利活用に関する取組を支援することにより、森林所有者の「自分たちの山は自分たちで守る」という管理意識の高揚を図り、適切な森林管理を促進する。

今後の展開

・本事業の実施により、未利用材が木質バイオマス燃料として有効活用される体制が整備されるほか、健全な森林の保全や林業収入の核を、雇用の創出などが期待できる。

取組の内容

- ・事業主体 広島市
- ・対象者 広島広域都市圏在住の住民
- ・受講者数 77人
- ・事業費総額 715,000円
- ・実施期間：令和5年4月1日
～令和6年3月31日

取組後の感想

- ・伐倒経験のある者となない者に分けて講習を行うことで、それぞれのレベルにあった講習を実施できている。
- ・伐倒経験のある受講者であっても、改めてチェーンソーの使い方を講習することで、安全第一に作業を行うことを再認識したなどの感想があった。

【ロープウインチによる間伐・搬出講習会の様子】



【バックホウによる自伐林業講習会の様子】

